



宮城県柴田農林高等学校・宮城県大河原産業高等学校 ハマボウフウ保護プロジェクトチーム

宮城県柴田郡大河原町字上川原7の2

世紀を超えてよみがえれ！

**バブルの力で薬用植物ハマボウフウを広めよう
～海岸への移植から生態系の回復と未来へ繋げる～**



バブル水で栽培したハマボウフウ

私達は砂浜に自生するハマボウフウに着目しました。砂浜を守り薬用効果が高い国産のハマボウフウは激減している事を危惧し、増殖する研究を行っています。マイナスイオンを帯びた細かい気泡が植物の栽培に効果があることを活用し、バブル水製造装置で水を作り出し、活用しました。8ヶ月間で育てた苗が、海岸で2年間生育した自生株に匹敵する大きさになっています。栽培した苗を、閑上海岸、名取トレイルセンター、蔵王自然の家、花とぴあ岩沼に定植させていただき、学校以外に新たな栽培拠点の開拓にも成功しました。このことで、海岸の本数を増やし、開花・種子がこぼれ落ちるまでの時間を短縮できる見込みが出来ました。